GHIT Fund
Global Health Innovative Technology Fund

Unitaid
Innovation in Global Health

プレスリリース

2023 年 2 月 28 日

ユニットエイドとグローバルヘルス技術振興基金がグローバルヘルスの製品アクセスを加速するために連携を強化

東京/ジュネーブ - 公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（以下、GHIT Fund）とグローバルヘルス機関ユニットエイドは、日本の研究開発産業と幅広いグローバルヘルス領域の対応をより強固なものにするため、協力枠組み協定を締結しました。特にこの協定（パートナーシップ）は、結核やマラリアにおける薬剤耐性の出現や気候変動によって形態が変化するベクター媒介性疾患といった複雑な課題への取り組みに重点を置くものです。

GHIT Fund の研究開発パイプラインとユニットエイドの製品導入/アクセスに関する専門性の連携が強化されることにより、イノベーションの創出、スケールアップ、アクセス&デリバリーといったテーマに取り組むパートナーとアイデアの間の橋渡しをする役割を果たします。

また、このたびの協定は、両機関を広範な戦略レベルで結束させるものであり、グローバルヘルス領域における喫緊のニーズに対応する後期開発製品のイノベーションを加速させ、継続的な協力関係を構築する枠組みが実現します。これにより、社会的弱者や恵まれない人々がより良い保健医療に確実にアクセスできるような取り組みが強化され、またユニバーサル・ヘルス・カバレッジに向けた進展が期待されます。

GHIT Fund の CEO である國井修は「両組織は共に新たな５ヵ年計画をスタートする節目の年です。そのタイミングでユニットエイドと戦略的パートナーシップをさらに強化できることを嬉しく思います。ユニットエイドが持つ製品の導入およびアクセスの専門性と GHIT のイノベーションが連携することにより、公平で持続可能なアクセス&デリバリーを実現し、GHIT はこれまで以上に研究開発のパイプラインを加速させ、最大限の効果を発揮できるよう努めます。」と述べています。

ユニットエイド事務局長フィリップ・デュヌトンは、「グローバルな問題の解決にはグローバルな協力体制が重要であることが、ここ数年の新型コロナウイルス・パンデミックで浮き彫りにされました。ユニットエイドは GHIT Fund とのパートナーシップを強化することで、今日もっとも差し迫った保健課題に取り組む日本のイノベーターらとのつながりを活かし、それにより新たな薬、診断、医療技術の恩恵をどこにいようと公平に受けられるようにし、すべての人のより健康でより安全・安心な世界をめざします」と述べています。

【グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）について】
公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）は、日本政府（外務省、厚生労働省）、製薬企業などの民間企業、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ウェルカム、国連開発計画が参画する国際的な官民ファンドです。世界の最貧困層の健康を脅かすマラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発への投資、ならびにポートフォリオ・マネジメントを行っています。治療薬、ワクチン、診断薬を開発するために、GHIT Fund は日本の製薬企業、大学、研究機関の製品開発への参画と、海外の機関との連携を促進しています。詳しくは、https://www.ghitfund.org をご覧ください。

【ユニットエイド（Unitaid）について】

ユニットエイドは、低・中所得国で病気をより早く、より安価に、より効果的に予防・診断・治療するための革新的ソリューションを特定する国際保健機関です。その活動には HIV/エイズ、マラリア、結核などの主要疾患、進行した HIV 感染症を含む共存症、子宮頸がんや C 型肝炎、さらには発熱対策などを対象とした分野横断的取り組みへの資金提供も含まれます。ユニットエイドは現在、ACT アクセラレーター（Access to COVID Tools Accelerator）のキープレイヤーとしてその専門知識を結集し、パンデミックと闘うための新しい治療法や診断法の開発という課題に取り組んでいます
ユニットエイドは、世界保健機関（WHO）の傘下にあります。www.unitaid.org